

令和7年度 第1回 FMはまなす番組審議会 議事録

1. 開催年月日 令和7年5月27日(火)
2. 開催場所 岩見沢市有明町南1番20
岩見沢市コミュニティプラザ2F 会議室B
3. 出席者 審議委員総数 8名
出席委員数 4名

出席委員の氏名
 - ・岡 嘉彦
 - ・仁志 正樹
 - ・畑 孝子
 - ・後藤 さゆり
局側出席者
 - ・阿部 啓吉(代表取締役)
 - ・松井 宙夢(事務局)
4. 議題 「局制作番組」「市民制作番組」についての審議
5. 議事の概要(放送日5/9～5/13)
 - (1) 局制作番組について
「スクラム岩見沢」
 - (2) 市民制作番組について
「みる・とーぶラジオ」

6. 審議内容

(1) 「局制作番組」について

「スクラム岩見沢」

岩見沢市の取り組みや情報、行事等を告知する市政だより。

① 事前意見回答報告

岡委員長

5月13日(火)の放送について

「岩見沢市からのお知らせでした。市の広報、市の行事などを積極的にリピート放送する事は効果があります。市の活動を大いに流すことで市民をラジオに近づける番組です。」

仁志委員

5月13日(火)の放送について

「子供子育て支援事業に関して「岩見沢市政便り」音声版による広報として、私には普段あまり聞かない分野での話題を耳で聞けることは有難いと感じました。毎月の広報誌が「幅広く個々の必要要件を満たした伝達手段媒体」でコミュニティーFMの「ピンポイントで優しい解説」との違いはありますね。複雑多様化する中で「紙媒体とラジオ媒体メディア」は、今後も力強く共存すると感じました。」

木村委員

「屋外のスポーツ・イベントが紹介され、季節の変化を感じさせてくれました。」

畑委員

5月13日(火)の放送について

「先ずは子育て会議委員の募集、バドミントン参加募集の案内、パークゴルフ初心者教室募集の3つのお知らせがあり、ゆっくりした口調、聞きやすくメモをす

るのにも良かったのではないかと思います。」

加藤委員

5月13日（火）の放送について

「いつも岩見沢市内及び近郊の町のイベント情報等を知れる必要な番組だと感じています。聴きやすく好感の持てる声と話し方だと思っています。これからも様々な情報発信をお願いします。その一方で、番組時間が短く情報量が少なく感じる場合があります。可能であればもう少し放送時間を延ばして情報件数を増やし、お年寄り向けや若者向け、子育て最中の人向け等、ジャンル別に情報を発信しても良いのではないかと感じています。」

後藤委員

5月13日（火）放送について

「意外と知らない地域の情報が耳から入ってくると新鮮に思いました。」

② 審議

岡委員長

「審議を始めます。市の広報誌に掲載されているイベントも放送しているのですか？」

事務局松井

「かいつまんで放送する場合があります。」

岡委員長

「仁志さんの意見にもあるように、紙媒体のPRも良いけど、ラジオで聞く事も良いと思いました。」

畑委員

「一般の方から放送してほしいとの要望はありますか？」

事務局松井

「あくまで市政だよりなので、市の広報誌から選んでいま

す。」

畑委員

「それ以外の依頼は受けられるのですか？」

事務局松井

「別の番組での対応になります。」

岡委員長

「街頭放送で市長が話しをしているのを聞きますが、そのような放送はしていないのですか？」

事務局松井

「特に市長の話の放送はありませんが、月1回行われている記者懇談会の議題を録音して放送しています。」

仁志委員

「街頭放送は歩いていると自然に聴けますよね。ラジオもお店等で流してくれるとかあれば良いですね。」

後藤委員

「私の職場ではFMはまなすをかけています。」

岡委員長

「自然と入ってくる状態があれば良いですよ。では次に進みます。」

(2) 「市民制作番組」について

「みる・とーぶラジオ」

東部丘陵地域の魅力と、そこに思いを寄せる人々の活動を発信。みる・とーぶプロジェクトの活動紹介、地域の人々へのインタビュー、お店の紹介などを行います。

① 事前意見回答報告

岡委員長

5月9日（金）の放送について

「來嶋路子さんがマヤマックスさんの故郷を訪問。追悼展の学芸員の桧垣さんとお話し等。改めてマヤマックスさんの死の淋しさ、岩見沢市美流渡地域での活動の重さを感じる番組でした。」

仁志委員

5月9日（金）の放送について

「マヤ・マックスさんとのご逝去後の思い出話が聞けました。沢山の思い出と作品を残してくれた芸術家の「マヤさん」！ご冥福をお祈りいたします。数回、美流渡でのイベントに参加し、家具製作の五十嵐さんの椅子を買い求めた時に「良いセンスしてるネ」と小脇に抱えていた椅子を見て声を掛けてくれたのが始まりでした。飾らない性格がとても印象的で、優しい性格は愛媛の今治産「手ぬぐい」の様ですね！と笑った事が記憶に新しいです。番組中流れるリクエスト曲も素敵で、荒井由実さんの「ベルベット イースター」は、数十年ぶりに聞きました。思い出深い時間を過ごせました。來嶋路子さんの進行も新鮮で、地域は基より今治迄の遠征などアクティブな活動に敬服しています。今後も聞きたい番組です。学芸員の方のお話しも楽しい語りでした。ただ、お名前の聞き取れない部分があり少し残念でした。奥深い話題にシリーズ化を願いたいです。」

木村委員

「放送日に聞くことができなかつたため、YouTube にアップされていた放送を聴きました。指定された番組かどうかは分かりませんが、ゲストに手芸家・岩切エミを招いた回でした。岩切エミさんはみる・と一ぶが生まれたきっかけをくれた方だそうです。みる・と一ぶのスタートの様子、現状、課題について岩切さんとの話しから分かりやすく整理された内容に感心しました。」

畑委員

5月9日(金)の放送について

「21時半ごろから聴き始めました。ドリカムの曲の後、來嶋氏と桧垣氏の岩見沢市と今治市との関係についてのトーク、子供達を交換留学生の様な形で両市の違い等を経験させてあげたい、市が動いてくれたら実現できるのではないかと話されていました。残された絵画や書からマヤマックスさんのメッセージの説明等、お二人のマヤマックスさんに対する深い強い思い、その思いを実現しようと努力されている姿が強く印象に残りました。2005年発行。來嶋路子編集長のみづえという雑誌が手元にあり懐かしく読み返しておりました。そこには若い頃のマヤマックスさんのご活躍の様子が掲載されています。」

後藤委員

5月9日の放送について

「マヤマックスさんの出身地の今治市から今治市河野美術館で開催される追悼展の案内を交えた内容でした。親交のあった学芸員さんと來嶋さんとの会話からマヤマックスさんの人柄、故郷今治での活動、関わりが伝わり、作品と一緒に愛されていたことがわかりました。エゾシカ、エゾリスなどの動物の絵は北海道に移住したからこそその作品だったのですね！」

② 審議

岡委員長

「改めてマヤマックスさんの偉大さが分かりました。來嶋さんは作家ですか？」

仁志委員

「編集長ですよ。」

事務局松井

「編集長で絵本とかを作っています。」

岡委員長

「美流渡地区をPRして貰えたら良いと思います。改めてラジオの良さと、耳から入る事で自分の想像力を高めるられ、また色々な情報も入って来ます。テレビには無い良さがあるのではないかと思います。これからも良い番組を作って欲しいと思います。他に意見が無ければ終了します。」

7. 審議機関の答申処置及び年月日

なし

8. 前回の審議会の指摘事項について改善した事項

(1) 局制作番組

「そこが知りたあ〜い！！」

ゲストを幅広く迎え、岩見沢市のPRとなるような番組作りを指導した。

(2) 市民制作番組

「CAFÉ ひげ」

引き続き良い番組作りを制作するようお願いした。

9. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表内容、方法及び年月日。

公表方法	自社放送、ホームページ、局内設置議事録
公表内容	委員の主な意見
公表年月日	令和7年6月15日

10. その他参考事項

特にありませんでした。